

講演会 / 13:35~14:50

## 日本のガーデニングを極めるために ～植物の力を信じて植える庭～



ガーデンデザイナー / 奥 峰子

恵泉女学園短期大学園芸生活学科卒業。  
カルムタウト樹木園(ベルギー)、RHSガーデン ウィズレー(イギリス)にて研修。紫竹ガーデン(北海道帯広市)、花のミュージアム フローリィ(石川県)などの植栽設計、および各所での講演、寄稿(園芸誌、読売新聞など)、コンテスト審査員などを務める。海外の植物園、庭園、ガーデンデザイナーとの交流も深く、現在は、しながわ中央公園、東品川海上公園、熱海市フレグラントムーンライトガーデンの植栽設計・監修を担当。(社)園芸文化協会、チューリップ文化振興協会理事。

主な著書

- 『決定版 半日陰、日陰を楽しむ』(講談社)
- 『奥峰子のわが家の花壇を美しく作るコツ』(主婦の友社)
- 『小さな庭のフラワーガーデニング』
- 『日陰の庭のシェードガーデニング』(文化出版局社)
- 『フォーリッジプランツ―葉の美しさを発見するために』(SCC) など多数



## 平成24年度 花博記念協会助成事業 公募のご案内

花博記念協会では、国際花と緑の博覧会(花の万博)の理念である「自然と人間との共生」の継承発展・普及啓発を目的として、生命の象徴としての「花と緑」に関連する広汎な分野にわたる事業を支援する「花博記念協会助成事業」の公募を実施しています。

詳しくはパンフレットまたは当協会ホームページ  
<http://www.expo90.jp/>  
をご覧ください。

公募  
受付中

受付期間

平成23年10月3日(月)～11月14日(月)

## 財団法人国際花と緑の博覧会記念協会について

財団法人国際花と緑の博覧会記念協会は、平成2年(1990年)に大阪で開催された国際花と緑の博覧会(花の万博)の理念「自然と人間との共生」を永く受け継ぎ発展させるために設立されました。以来、潤いのある豊かな社会の創造に役立つ数々の事業を行っております。

〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園2-136  
TEL 06-6915-4516  
FAX 06-6915-4524  
E-mail hanahaku@expo90.jp  
URL <http://www.expo90.jp/>




## 花博記念協会助成事業成果発表会

# 花と自然のフォーラム2011



花博記念協会では、国際花と緑の博覧会(花の万博)の理念である「自然と人間との共生」の継承発展と普及啓発を図るため、調査研究開発ならびに活動・行催事に対する助成事業を推進しています。

今年度は、「日本のガーデニングを極めるために～植物の力を信じて植える庭～」をテーマとした講演会とともに、助成事業の成果発表会を開催します。

- 日程 平成23年11月3日(木・祝)
- 会場 富山電気ビルディング
- 主催  財団法人国際花と緑の博覧会記念協会

■協力 (財)花と緑の銀行 ■後援 農林水産省、国土交通省、富山県、富山市、(公財)助成財団センター、(公財)日本花の会、(財)公園緑地管理財団、(財)都市緑化機構、(財)日本花普及センター、(社)日本家庭園芸普及協会、(社)日本公園緑地協会、(社)日本造園学会、(社)日本造園建設業協会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会

愛知県

野生ニホンリス保全活動とその中での環境教育.....守山リス研究会

1990年から名古屋市近郊の里山に生息する野生のニホンリス・ムササビ(カモシカ、キツネ、他の哺乳類)を保全するために、生息環境を調査し復元維持する活動の中で環境教育を行っています。世界中のリスやムササビ生態調査、リス捕獲・計測・発信機取付・テレメ調査等の活動だけでなく、生息地である森・樹木・林床・生物・土壌・湧水・移入種調査と駆除を地元の神社・農家・住民・企業とも協同し地域としての保全を進めています。



福井県

越前町立福井総合植物園植物標本整理事業.....財団法人越前町公共施設管理公社

当財団は越前町の指定管理を受けて、町立の公共施設を管理・運営しております。その一つである越前町立福井総合植物園では、施設及び植栽の管理、各種イベントの発案・実施、調査研究、資料収集・保存、教育・啓蒙活動を行ってまいりました。ボランティア組織「ハナノキ会」は平成6年の開園直後から、植物園の活動を支援し、独自の企画展示等も行ってきました。植物標本庫についても、財団職員とハナノキ会が協働で標本収集と管理を行っています。



大阪府

生きもの生息環境調査と環境学習リーダーの育成.....自然遊学館わくわくクラブ

15年目に入った臨海埋立地での「トンボの池」は、雨水のみで維持され、トンボの出現種は23を数えています。会員数65名、月一回の「身近な自然」の維持作業と観察会を通じて自然復元活動の普及を図り、「身近な自然」の再生に関わる次世代の育成に努めています。そして、「身近な自然」の保全には、地域に自然生態的に結合する多くの拠点の存在が必要であることに気付きました。



富山県

トウツバキ園芸品種の保全に関する日中共同研究.....財団法人花と緑の銀行

昭和48年に「花と緑の県づくり運動」の推進母体として設立され、平成5年から富山県中央植物園の管理を行っています。中央植物園では「雲南省の貴重植物に関する保全生物学的調査・研究」をテーマに平成13年から中国の昆明植物研究所と共同研究を行っており、平成19~22年度には昆明市の市花でもあるトウツバキの保全について、古樹の花期・果実期の現地調査とデータベースづくり、効果的な増殖法の開発について研究を行いました。



交流会 / 17:15~19:00

参加費  
1,500円

奥 峰子さんをはじめ、  
全国で様々な活動をしている方々と  
気軽にお話しませんか!

審査会委員 (敬称略、50音順)

- 尼崎 博正 (京都造形芸術大学 教授)
- 今西 英雄 (JFTD学園日本フラワー・カレッジ 校長)
- 近藤 公夫 (奈良女子大学 名誉教授)
- 佐倉 統 (東京大学大学院情報学環 教授)
- 須磨 佳津江 (キャスター・ジャーナリスト)
- 長村 智司 (大阪テクノ・ホルティ園芸専門学校 校長)
- 服部 明世 (前(財)都市緑化技術開発機構 理事長)
- 鷺谷 いづみ (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)